

麦・水稲の生育と管理

令和2年5月号
大分県北部振興局集落営農・農地活用第一班

麦の刈り遅れに注意！

○品質向上のために適期収穫を！

今年は平年より気温が高く生育が非常に進んでいます。

収穫適期の目安は、成熟期から2～4日後です。穀粒水分の目安は、水分含有量25%以下です。成熟期以降、裸麦は好天では1日で穀粒水分が3～6%低下します。収穫適期が短いので注意しましょう。

早刈り → 減収・乾燥費増大・品質低下

遅刈り → 減収・穂発芽・倒伏・品質低下

成熟期の判断基準

麦種	出穂期からの日数	外観による判断
小麦	45～50日程度	・全穂の80%で粒の緑色が消えツメ後がわずかにつく ロウソクくらいの堅さ (水分35%程度) ・穂首部分が黄化する
裸麦	40日程度	
大麦	37～42日程度	



収穫適期の大麦

※出穂期は全体の40～50%が出穂した時期を指す

○収穫時の降雨について

- ・麦は成熟期以降に降雨を受けると、穂発芽・退色・かび等の発生を招きます。
- ・雨が予想される場合は、できる限り降雨前に収穫しましょう。

収穫はどれくらい前倒しできるのか？

収穫適期の2～3日前が前倒しの限度です。穀粒水分は31～32%です。

○収穫時の注意点

- ・倒伏、穂発芽、赤かび病の発生した圃場は別収穫しましょう。
- ・カラスノエンドウ等の雑草は収穫前に手取り除草を行いましょう。



倒伏



赤かび粒



穂発芽



カラスノエンドウ

良い米は苗作りから！

◎良い苗の条件

- ①すんぐりして発根力に優れ活着が良いこと
- ②生育が揃い病害虫の発生がないこと
- ③根量が多く、マット形成がしっかりしていること
- ④下葉の枯れ上がりや葉先枯れがないこと

◎良い苗作りのポイント

①塩水選

- ・比重1.13の水（水20Lに食塩4kg又は硫酸6kg）で選種を行いましょう。
- ・塩水選後は良く水洗いを行い、種籾から塩分を取り除きましょう。

②種子消毒

病害虫による被害を抑えるため、種子消毒を必ず行いましょう。

薬剤	使用量 (水20Lあたり)	適用病害虫名	使用方法
スミチオン乳剤	20cc	イネシンガレセンチュウ	24時間 種子浸漬
テクリードCフロアブル	100cc	もみ枯細菌病、 ばか苗病、いもち病等	

③浸種・催芽 ～均一な催芽を目指しましょう～

- ・水量は種籾の1：1以上として、水温は10～15℃を確保しましょう。
- ・積算温度100℃（水温×日数）が目安です。
- ・直射日光を避けるとともに10℃以下の低水温に注意してください。
- ・酸素を十分に補給するために水を毎日入れ替えましょう。
- ・種子消毒の効果を保持するために流水での浸種は行わないでください。
- ・催芽は、種子の状態を確認し、鳩胸状態で終了させましょう。
- ・催芽しすぎた場合、播種時に芽が損傷を受け、出芽率が低下するので注意ましょう。

④育苗方法

【温度管理】

1. 出芽期（適温30～32℃）

緑化開始まで（幼芽長5～10mm）
高温では出芽不良、病害虫発生
低温では出芽遅延、かび・障害発生

2. 緑化期（適温22～25℃）

光を当て、緑葉素を作る（苗長3～4cm）

3. 硬化期（12℃以下にしない）

硬化開始から移植5～6日前までの期間で
温度を徐々に下げ外気温に慣れさせる
この期間で目標の葉齢、苗長まで育てる

【水管理】

灌水は午前と午後の2回が基本！

①午前中（10時頃）の気温上昇時に
たっぷり灌水



②午後（13～14時頃）は床土の表面
が乾いていたら灌水

※夕方の灌水はひかえましょう

控えめな灌水を心がけましょう！

過剰な灌水は根張りを悪くし、軟弱で
徒長した苗になります。

